

PSS REPORT 2019

第34期 事業報告書

2018年7月1日 >>> 2019年6月30日



東証マザーズ上場
証券コード：7707

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスイージー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計約3万台を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることを考えています。

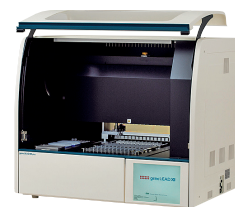


プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置
geneLEADⅡ



■ 業績について

第34期（2019年6月期）連結累計期間業績について →参照 連結財務ハイライト

前期比では連結通期業績黒字化を達成できました。その要因としては、エリテック社向けOEM供給製品である全自動遺伝子診断装置の販売や、OEM向けDNA自動抽出装置の販売が好調に推移した結果により、全体としては前期比で増収増益となりました。一方、費用面においては、研究開発費を含めた費用の削減を行った結果として、連結通期業績黒字化を達成できました。

■ 中期事業計画の進捗について

遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年数値の見直しを実施しています。

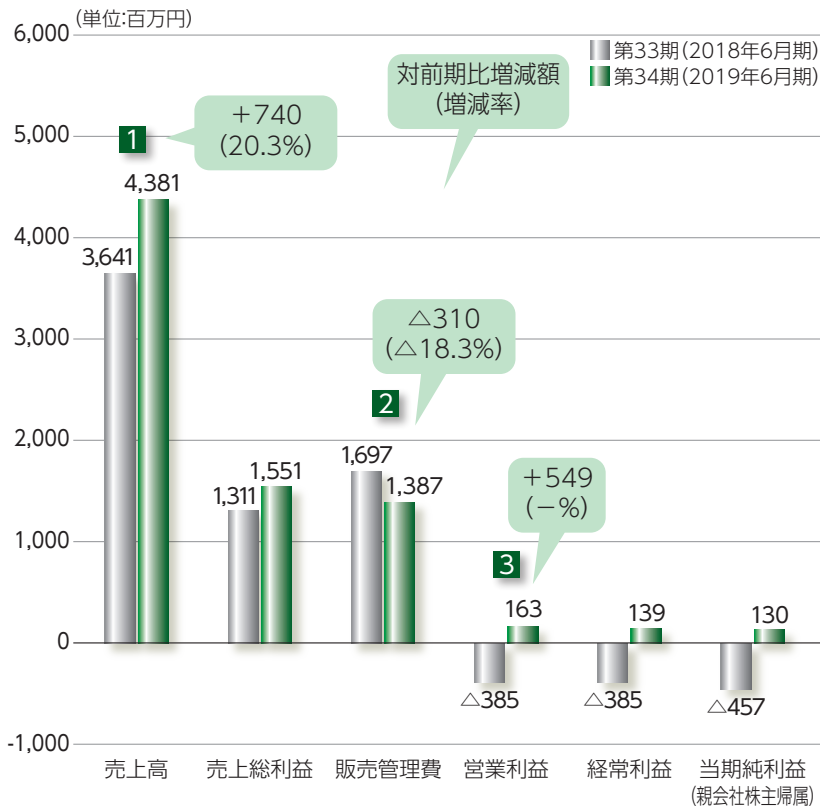
中期事業計画の方針としては、1. 既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得、2. 自社製品のラインアップの充実と販売強化、3. 試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を定めており、これらの進捗状況については、

- ① エリテック社向けに、OEM供給を行っている全自動遺伝子検査装置（プレパック抽出試薬を含む）について、新たな製品開発とOEM供給契約の基本合意締結に至り、現在上市に向けた製品開発を行っています。
- ② 小型の全自動遺伝子検査装置（リアルタイムPCR検査装置）、geneLEADⅡⅧの販売を開始しました。当初は、欧州規格CE-IVDに対応をしたPCR試薬を随時製品化し、欧州圏での販売を行っています。
- ③ 上記①②の進展により今後は試薬及び消耗品（専用プラスチックカートリッジ）の販売拡大が予想されることから、PSSの大館試薬センターでは自動化設備投資による量産コストダウン対応を行っています。

第35期（2020年6月期）においてはこれらの施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせられるよう事業を推進してまいります。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第34期(2019年6月期)連結業績

■連結業績は、前期比増収増益と、費用削減努力により業績黒字化が達成されました。



◆第33期(2018年6月期)業績比

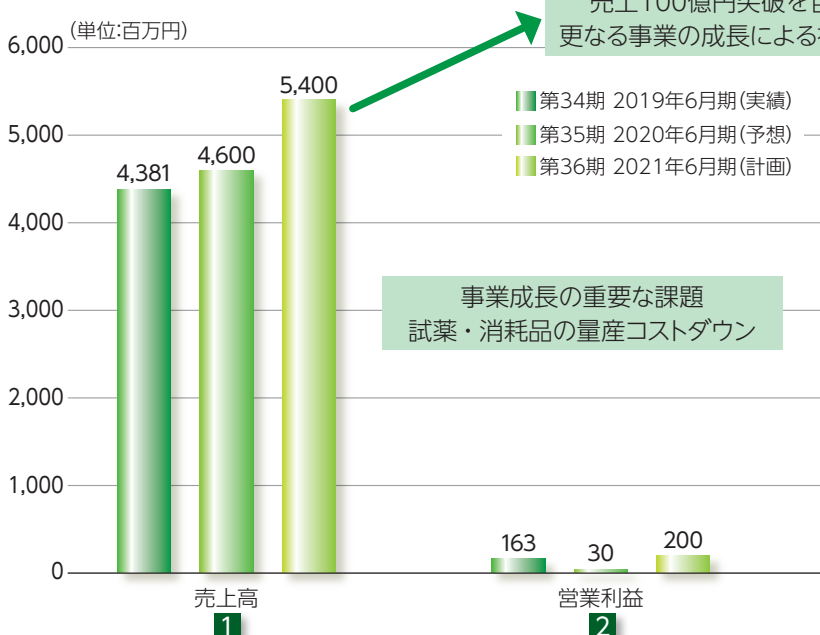
- ▶売上高及び総利益の増収
エリテック社向けOEM供給製品である全自動遺伝子診断装置の販売や、OEM向けDNA自動抽出装置の販売については好調に推移して、全体としては前期比で増収となりました。
- ▶販管費は前期比削減
研究開発費377百万円(前期比33.6%減)と減少したほか、その他費用の削減にも努めたことによるものです。
- ▶業績黒字化の達成
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化を達成しました。

中期事業計画(2019年6月期～2021年6月期)の進捗について

■当社グループでは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え、事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行するとともに、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの事業転換を掲げています。特に試薬及び消耗品の販売拡大が予想されることから、PSSの大館試薬センターにおける自動化設備投資によるコストダウン対応が要求されており、事業の成長のための今後の重要な課題となっています。

■第35期の見通しは、上記のとおり営業利益縮小となる見通しですが、当社グループにとって開発活動は、バイオベンチャーとして事業を拡大していくために必須であり、また今後さらに売上を拡大していくためには、試薬量産コストダウンの設備投資や自社販売の拡大も重要な柱と位置づけております。これらについては、継続的に投資を実施しますが、収益とのバランスを考慮しつつ、営業黒字達成を目指していく所存です。

なお、第35期業績予想に関する為替見通しは、1ドル=110円、1ユーロ=130円にて算定しています。



- ▶取引先別売上推移
既存OEM取引深耕及び新規OEM契約獲得、自社販売による増加基調分を見込んでいます。
- ▶製品別売上推移
全自動遺伝子診断装置と試薬・消耗品の増加基調分を見込んでいます。
- ▶営業利益
投資と収益とのバランスを考慮していくことで、業績黒字達成を見込んでいます。

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより

●投資に関する説明会開催状況(中期事業計画)
(2019年8月30日)

■ 事業成長のための資金調達

「第三者割当による第16回乃至第18回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行（コミット・イシュー・プログラム）及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」
(2018年8月27日)

PSSの事業概要と対策（資金調達）

geneLEAD VII



PSSオリジナル 機器/技術

- ・ geneLEAD
- ・ magLEAD
- ・ PreLEAD
- ・ SpeLIA
- ・ LuBEA

機器、試薬の 融合成功

- ・ Magtration®を中核とした高精度システム
- ・ 全試薬をアルミシール化
- ・ 封入したプレフィールドカートリッジKIT

提携を通じた 活用分野の拡大

- ・ リアルタイムPCR
- ・ 感染症
- ・ シーケンサーサンプルプレパレーション
- ・ オンコロジー
- ・ がん
- ・ マルチプレックス免疫
- ・ 体質
- ・ ヒューマンID
- ・ 超小型生化学

競争力のある 製品への対策

- ・ 量産・低コスト化
- ・ 量産施設拡充
- ・ 応用製品対応開発
- ・ 人財確保
- ・ 販売網確立
- ・ 臨床規制規格対応

上記実現の為、
資金調達の実施

■ 大館試薬センターにおける自動化設備投資による量産コストダウン対応

試薬製造自動化ライン導入前



クリーンルーム内試薬製造風景
(シーリング工程)



試薬製造自動化ライン導入後



■ 日本国内における体外診断用医薬品の製造販売業許可取得と製造業登録を行いました。(2019年7月30日)

会社概要 (2019/6末現在)

CORPORATE PROFILE

商 号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役 員：代表取締役社長 田島 秀二
専務取締役 池田 秀雄
常務取締役 古川 昭宏
取締役 田中 英樹
取締役* 團野 達郎
常勤監査役** 平山 伸之
監査役** 荻原 大輔
監査役** 山川 善之
(注) *社外取締役 **社外監査役

資 本 金：3,689百万円

従業員数：166名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含めない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ株式会社 (千葉県松戸市)
エヌピーエス株式会社 (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー

遺伝子・タンパク質解析関連業界における研究開発やその研究成果の実用化に用いられる自動化装置、その他理化学機器、ソフトウェア等の開発及び製造販売ならびに自動化装置に使用される試薬及びプラスチック消耗品の製造販売等。

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式の総数 25,066,900株
株主数 10,759名

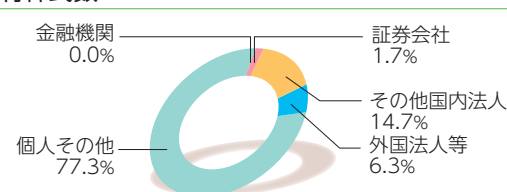
大株主 (2019/6末現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,299,200	17.2
株式会社日立ハイテクノロジーズ	2,310,000	9.2
有限会社ユニテック	1,200,000	4.8
J. P. MORGAN SECURITIES PLC	712,700	2.8
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	410,000	1.6
高山 茂	212,900	0.8
高橋 計行	206,500	0.8
傳 孝広	200,100	0.8
佐々木 桂一	104,100	0.4
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	100,800	0.4

株主数推移 (名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
剰余金の 配当基準日	期末配当金 毎年 6 月30日 中間配当金 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 (http://www.pss.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子 公告による公告をすることができない場合 には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等 株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されてい る証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、 ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、 下記のお取扱店にてお取次いたします。 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、み ずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱い いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払い	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 総務部

▶ 7271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶ TEL: 047-303-4800 ▶ FAX: 047-303-4810 ▶ Eメール: ir@pss.co.jp